

指定管理者評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立光明の郷ケアセンター
指定管理者名	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団
開催日	令和3年（2021年）1月8日（金）
開催場所	総合保健福祉センター 2階大会議室
合議の出席者	箕面市西部地域包括支援センター管理者 田中 高志氏 箕面認知症家族会「びわの会」会長 森永 宏一氏 箕面市居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所連絡会会長 岡本 有子氏 箕面手をつなぐ親の会副会長 坂口 勝子氏 箕面市障害者市民施策推進協議会座長 岡本 直美氏

【概要】別添のとおり

内容

令和3年1月8日（金）に総合保健福祉センター2階大会議室にて、指定管理者の評価に係る合議を実施しました。主な内容は下記のとおりです。

1) 障害者地域活動支援センター事業等について

手作り紙芝居の作成では市のコンクールで市議会議長賞を受賞できたことや、外部機関によるコンサルテーションを年5回実施して、利用者のさまざまな障害特性に応じた対応ができるように職員の知識向上に努めたことの報告がありました。

合議メンバーからは、工賃安定や技術・工程の工夫について質問があり、指定管理者からは、紙すきの名刺の販路が法人職員のほか市職員にも広がっていること、職員のアイデアや市販品を参考に、クリスマスカードやバースデーカードの作成にも取り組んでいるとの回答がありました。そのほか、創作作品の事業所外での掲示について、是非とも取り組み、利用者の自信に繋がるようにしてほしいというご意見がありました。

また、事故件数2件については、送迎車の物損事故と利用者の施設内での突発性行動で、重大事故ではなかったが職員間で事例共有したとの説明がありました。ヒヤリハットの件数についても質問があり、指定管理者からは、立ち上がった際のふらつき2件があったと回答がありました。重大事故を未然に防ぐためにも、ヒヤリハットの把握が必要であるという意見がありました。

その他、営業時間の延長について、実施に向けて動くことでニーズの掘り起こしができるのではないかとのご意見がありました。

2) コロナ対策について

各フロア共通の対策として、お迎え時にまず検温、職員はマスクとフェイスガードまたはシールドの着用、送迎車には運転席と後部座席の間にパーティション設置、センター到着時に再度検温、作業机の間にパーティション、常に窓をあげ換気、職員は個々にアルコールスプレーを持ち随時機や椅子の消毒をすることで、「濃厚接触」とならないようにしているとの報告がありました。

3) 小規模多機能型居宅介護事業所「ひねもす」について

指定管理者から、サービス自体が世間に知られていないが、職員のスキルアップに努めて多様なニーズに対応できるようにし、新規利用を獲得していきたい、との説明がありました。

4) 老人デイサービスセンターについて

指定管理者から、令和元年10月から地域住民対象に「光明の郷いきいき健康教室」を開催し、計42名の参加があったものの、令和2年2月からはコロナ禍のため中止となっていること、近隣の箕面市立東小学校と連携して生徒の作品を展示する「光明の郷ギャラリー」を実施していることなどの報告がありました。

合議メンバーからは、外出サポートをぜひ実現してほしい、という意見が出され、指定管理者からは、まだ実現に至っていないが、実現に向けターゲットを絞って内容を整理していくとの回答がありました。

5) 総評

各事業について、工夫した取組を行っており、障害者、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるため、継続的に実施していくべき事業内容であることを確認しました。

アンケートの結果及び合議で出た意見からも、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価します。